

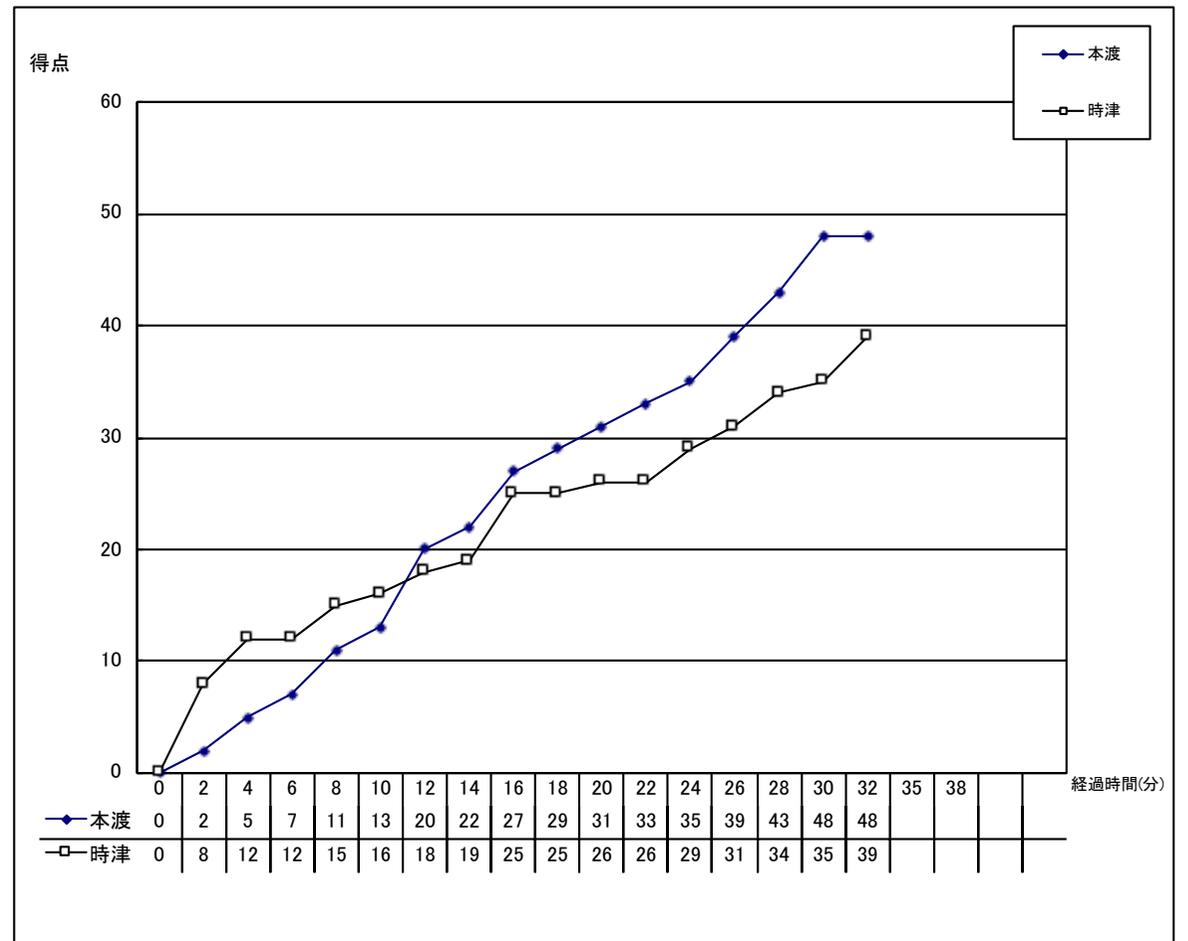
# 令和5年度 第53回九州中学校バスケットボール競技大会

## 個人データ表

女子 代表決定戦		令和5年8月10日		12:10 開始	
		会場： ナースパワーアリーナ		Bコート 第3試合	
		主審： 御手洗 亮		副審： 松田茂治 北島和明	
☆ 本渡 熊本	48	11 16 8 13	1 Q 2 Q 3 Q 4 Q	15 10 4 10	39 時津 長崎

本渡												
番号	氏名	得点	3P	3P試投	2P	2P試投	FT	FT試投	反則	DF.RE	OF.RE	RE計
○ 4	谷山 颯	6		4	2	7	2	2	2	2	1	3
5	大塚 朋											
6	宮本 明奈											
7	金子 和叶											
○ 8	龍石 綺星	2			1	3			5	1		1
9	荒木 悠花											
○ 10	上口 凜華	6			3	4		1	2	4	1	5
○ 11	玉木 さくら	16	2	6	5	10			1	6		6
12	松下 莓								3			
13	山下 優莉	6	2	4		1			5			
○ 14	川口 日香	12			6	6			1	11	1	12
15	倉田 真希											
16	山形 煌											
17	上嶋 利依紗											
18	田中 真央											
コーチ	端迫 亜伊											
合計		48	4	14	17	31	2	3	19	24	3	27
成功率			28.6%		54.8%		66.7%					

時津												
番号	氏名	得点	3P	3P試投	2P	2P試投	FT	FT試投	反則	DF.RE	OF.RE	RE計
○ 4	谷川 早和	10		1	2	12	6	12	1	2	1	3
5	江口 真央											
○ 6	原 愛瑠	7		1	3	11	1	3		1		1
7	芝崎 心美											
8	嘉藤 柚花											
9	深松 柚											
○ 10	白井 友	5	1	3		3	2	2		2	1	3
11	東野 愛依											
12	岩本 結衣那											
13	堀 香奈子											
14	上野平 和莉	4		2	1	6	2	4	2	1		1
○ 15	木村 心愛	10	1	1	3	10	1	2	4	1		1
16	三宅 彩葉											
○ 17	井上 真緒	3		2	1	5	1	4	2	4	3	7
18	深松 桃											
コーチ	田崎 貴洋											
合計		39	2	10	10	47	13	27	9	11	5	16
成功率			20.0%		21.3%		48.1%					



### 《戦評》

全国大会への出場権を懸けた女子代表決定戦は、時津(長崎1位)と本渡(熊本1位)との対戦。

1 Q : ゲーム開始、本渡#11と#14のピック&ロールからチャンスを作りますが、スコアとはならず、攻守が入れ替わり時津#15が確実にシュートを沈め、時津が先制する。そこから時津は#15と#10の3Pでテンポよくスコアを重ねる。両チームともにハーフコートDFから落ち着いたテンポでゲームを展開する。本渡は#11を中心にボールコントロールしながらOFをデザインし、時津はコート上の5人の選手がバランスよくスコアしていく。15-11時津リードで1Q終了。

2 Q : チームでうまくスペースを作りながらアタックする時津だが、本渡のDFの強度が高く、スコアにつながらない。対して、本渡は#11と#4の効果的なパス供給から、#10と#14が3連続スコア。残り5:00に時津1回目のタイムアウトを要求。時津はFTから1点ずつスコアを重ねていくが、本渡は#11のピックプレーから上手くDFを引き付け、#13の2本連続コーナー3Pでスコアを走らせる。追いかける展開となった時津は前半2回目のタイムアウト直後のプレー、ピリオド終了間際の#4のスコアで粘り強くプレーする。2Q終了、時津25-27本渡のスコアで後半へと折り返す。

3 Q : 後半もお互いにハーフコートDFから集中力を高く維持したゲームを展開する。両チームともにハイピックを用いながらスコアのチャンスを作っていく中で、本渡は#14と#11が確実にスコアを収めていくが、時津は本渡のDFに捕まってしまう場面が目立つ。一つ一つのポジションを丁寧にデザインしながら、時津29-35本渡というスコアで3Qを終え、最終クォーターへとつなげる。

4 Q : ピリオド開始直後から本渡は#10、#4が幸先よくスコアを重ねる。時津もDFとの僅かなズレを見逃さずアタックしながら本渡のチームファウルを残り5:34時点で4回とする。しかし、本渡は落ち着いてゲームを展開し、#8や#11をはじめそれぞれの持ち味を発揮しながらテンポよくスコアを伸ばす。本渡との点差が11点となった残り3:48に時津は後半1回目のタイムアウトを要求。その後も時津はFTにより1点ずつ詰めていくが、本渡の流れは止まらず、3年生が献身的なプレーで下級生を支え、それに下級生が結果で応えるチームとしての総合力の素晴らしかった本渡が全国への出場権を獲得した。また、最後までオールコートDFからチャンスをつくり、あきらめない姿勢を体現し続けた時津の健闘を称えたい。

伊藤千穂(玉名市立玉名中学校)